

角野 栄子（かどの えいこ）氏（本名：渡邊 栄子（わたなべ えいこ）氏）



昭和10年1月1日生（91歳 鎌倉市在住）
児童文学作家

※年齢は令和8年10月1日現在

（写真提供：角野栄子オフィス）

経歴

昭和10年 東京府（現東京都）生まれ
昭和32年 早稲田大学教育学部英語英文学科卒業、紀伊國屋書店出版部入社
昭和34年 自費移民としてブラジルへ渡り、サンパウロ市に約2年間滞在
昭和45年 「ルイジニョ少年 ブラジルをたずねて」で作家としてデビュー
昭和57年 「大どろぼうブラブラ氏」で第29回産経児童出版文化賞大賞
昭和60年 「魔女の宅急便」で第23回野間児童文芸賞及び第34回小学館文学賞
昭和61年 「魔女の宅急便」がIBBYオナーリスト1986（文学部門）に選定
平成 元年 「魔女の宅急便」の長編アニメ映画（スタジオジブリ制作）が公開
平成12年 紫綬褒章
平成26年 旭日小綬章
平成28年 「トンネルの森 1945」で第63回産経児童出版文化賞ニッポン放送賞
平成30年 国際アンデルセン賞作家賞
令和 5年 「魔法の文学館（江戸川区角野栄子児童文学館）」館長
令和 6年 「角野栄子あたらしい童話大賞」審査委員長

顕彰事由

氏は、児童文学作家として半世紀以上にわたり数多くの作品を発表し、「魔女の宅急便」をはじめ世代や国境を越えて親しまれる作品は、日本の児童文学の発展と国際的な評価の向上に大きく寄与してきた。

また、新たな児童文学の担い手の発掘にも精力的に取り組むなど、その功績は多大であり、今なお執筆活動続けるその姿は、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

候補者のコメント

この度は、素晴らしい賞を賜りまして、感謝申し上げます。

私は深川に生まれ、3歳のとき、江戸川区小岩に移りました。当時の小岩は自然そのもの。ザリガニ、トンボ取り、そばを流れる江戸川では、遊びに遊びました。毎日ワクワクがとまりません。その時代が私を創ってくれたと思います。その川のほとりにある「魔法の文学館」（江戸川区角野栄子児童文学館）では「読み聞かせ（聞書）」から「読書」へ。自分で本を選んで、自分で本を読む子供たちが育ってほしい。子供たちはきっと本好きになって、日本の出版文化を支える存在になるでしょう。

タモリ氏（本名：森田 一義（もりた かずよし）氏）



昭和20年8月22日生（81歳 目黒区在住）
タレント

※年齢は令和8年10月1日現在

経歴

昭和20年 福岡県生まれ
昭和39年 早稲田大学第二文学部入学
昭和50年 芸能界に入る
昭和52年 バラエティー番組「徹子の部屋」初出演
昭和57年 バラエティー番組「笑っていいとも！」放送開始
同 年 バラエティー番組「タモリ倶楽部」放送開始
昭和61年 音楽番組「ミュージックステーション」放送開始
平成20年 バラエティー番組「ブラタモリ」放送開始
平成26年 第62回菊池寛賞
平成29年 第68回日本放送協会放送文化賞
令和 5年 第60回ギャラクシー賞放送批評懇談会60周年記念賞

顕彰事由

氏は、音楽、芸能、歴史などの奥深い知識と独自の視点や話芸で存在感を発揮し、既存のジャンルに収まらない活躍を続けてきた。

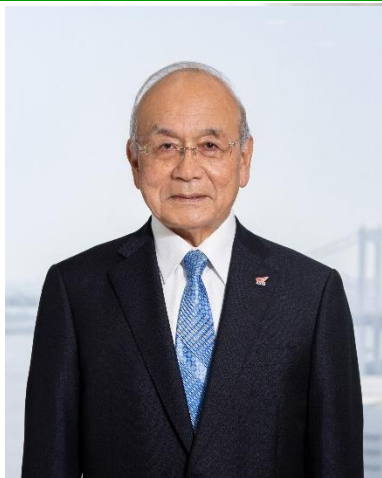
また、「笑っていいとも！」をはじめ、「タモリ倶楽部」「ブラタモリ」など、数多くのテレビ番組の顔として、日本の笑いを革新し、長年にわたり第一線で活躍している。

その功績は多大であり、今なお活躍を続けるその姿は、人々に希望や活力を与え、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

候補者のコメント

この度は東京都名誉都民に選んでいただき、誠にありがとうございます。歴代偉大な方々が名を連ねておられる中に、本当に私が入っていいものかと恐縮しています。また人生の大半を東京で過ごし大変光栄なことと存じます。

鳥原 光憲（とりはら みつのり）氏



昭和18年3月12日生（83歳 藤沢市在住）
東京ガス株式会社名誉顧問
元公益財団法人日本パラスポーツ協会名誉会長

※年齢は令和8年10月1日現在

経歴

昭和18年 東京府（現東京都）生まれ
昭和42年 東京大学経済学部卒業、東京ガス株式会社入社
平成 8年 東京ガス株式会社原料部長
平成 9年 東京フットボールクラブ創設準備事務局立ち上げ
平成15年 東京ガス株式会社代表取締役兼副社長執行役員企画本部長
平成18年 東京ガス株式会社代表取締役社長兼社長執行役員
平成22年 東京ガス株式会社取締役会長
同 年 一般社団法人日本ガス協会会長
同 年 東京商工会議所副会頭
平成23年 財団法人日本障害者スポーツ協会会長及び日本パラリンピック委員会委員長
同 年 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会評議会委員
平成25年 日本障害者スポーツ協会において、「日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)」策定
平成26年 東京ガス株式会社相談役
同 年 日本パラリンピック委員会会長
令和 3年 公益財団法人日本パラスポーツ協会名誉会長
令和 4年 東京ガス株式会社名誉顧問

顕彰事由

氏は、東京ガス株式会社代表取締役社長としてエネルギー業界の発展に寄与するとともに、公益財団法人日本パラスポーツ協会会長・日本パラリンピック委員会会長を長年務め、東京で2度目のパラリンピック開催をはじめパラスポーツの発展に尽力した。

また、同社サッカー部を母体にJリーグクラブ「FC東京」を創立し、スポーツを通じた地域社会の振興に貢献した。

多方面にわたり活躍する氏の功績は多大であり、高い志を持ち、人々に希望や活力を与えるその姿は、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

候補者のコメント

思いもよらず名誉都民にご推挙いただき身に余る光栄に存じます。この顕彰はパラスポーツ協会はじめパラスポーツ関係者全員の大きな励みになり、何よりも有り難く感じております。

コロナ禍で1年延期という、未曾有の困難を克服して成し遂げられた東京2020パラリンピック大会に、招致段階から関わったことはまたとない経験でした。

大会のレガシーを継承・発展させ、活力ある共生社会の実現に繋げることが大事な課題です。今後も微力ながら、パラスポーツを通じて東京の発展に貢献したいと思います。